

# 法人ニュース

Vol. 73 新春号

謹賀新年

目次

- 1P  
法人会会長あいさつ
- 2P  
飯塚税務署長新年ごあいさつ  
令和7年度飯塚税務署長納税表彰
- 3P  
青年部会活動
- 4P  
女性部会活動
- 5P  
「税に関する絵はがきコンクール」  
入賞作品
- 6-7P  
高校生「税に関する作文」  
受賞者、作品
- 8-9P  
中学生「税に関する作文」  
受賞者、作品
- 10-11P  
飯塚税務署からのお知らせ
- 12P  
飯塚法人会のご案内



2026



公益社団法人  
飯塚法人会  
会長  
樺島典仁

## 会長あいさつ

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。本年もよろしく願いいたします。

さて公益社団法人飯塚法人会は飯塚市、嘉麻市、桂川町をエリアとし、現在会員数は968社です。只今1000社を目指しており、皆様方のお知り合いのご紹介を心よりお願いいたします。

法人会は税のオピニオンリーダーとして、より良い経営を行い、納税の義務を果たし、社会貢献をする団体です。尚、社会貢献事業として小中学生に租税教育を行い、税の使われ方を啓蒙する税に関する絵はがきコンクール(管内小学校6年生1,067名)、租税教室、こどもらしくコンサート(管内小学校6年生1,059名)等を毎年開催しています。

この様に、我々の住むこの地域が発展し栄えてこそ、会員企業の繁栄があると考えます。我々の会社が繁栄しなければ、税金も払えないし、社会貢献も出来ません。現在、新飯塚駅周辺では、まだ幾つかのマンション計画が残っています。そして飯塚駅の再開発が進んでおり、住宅、マンションの計画が目白押しで

す。桂川駅、大分駅は博多駅より近く、近頃、様変わりをしています。

この様に住宅に手が届きにくく、物価の高い福岡都市圏より、我々の住むこの街を選択する人たちが増えてくると考えます。この事を訴えて行くことが重要であると考えます。

さて昨年は公益社団法人飯塚法人会の社団化40周年の記念式典および記念講演会が10月21日(火)パドドゥ・ル・コトブキにて開催(180名)されました。講演会では麻生泰飯塚商工会議所会頭に、これから先に向けての経営のあり方、街の方向性についてお話を頂きましたが、我々に対してコミュニティーの中で、傍観者、評論家になってはいけない。アクションを起こして、必要とされる人材になりなさいと訴えられました。我々法人会及び会員は麻生会頭の激励を受けて、50周年に向けて行動しなければなりません。

最後になりますが、皆様方におかれましては、公私共に忙しい中、40周年記念式典の御出席を心より感謝致します。本年は午年です「情熱と行動力で突き進み燃え盛るようなエネルギーで」道を切り開きましょう。



## 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとございます。

公益社団法人飯塚法人会の会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

旧年中は、飯塚法人会の役員並びに会員の皆様には、税のオピニオンリーダーとして税務行政全般に格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私自身、昨年の7月に飯塚税務署長を拝命し、早いもので半年が過ぎました。この間、理事会、各委員会及び研修会等において、会員の皆様が精力的に活動されている姿を拝見し、そのご尽力に深く敬意を表します。

特に、租税教室と併せて実施いただいている「税に関する絵はがきコンクール」については、今年度、1,000件を超える応募があり、子ども

たちが税金について考える場を提供いただくだけでなく、各施設の協力のもと、全作品を展示いただくなど地域全体の関心を惹く素晴らしい取組だと感じております。

さて、間もなく令和7年分の所得税・贈与税等の確定申告の時期を迎えます。

国税庁では、税務行政のデジタルトランスフォーメーションの一環として、e-Taxやキャッシュレス納付の利用促進に取り組んでおります。

日頃から使い慣れたスマートフォンを利用することで、いつでも簡単に確定申告が可能となっておりますので、飯塚法人会の会員の皆様には、是非スマホ申告をご利用いただけますようお願いいたします。

また、毎月の源泉所得税など納付回数が多い税目の納税は、ダイ



飯塚税務署長  
阿部 寿 弘

レクト納付などのキャッシュレス納付が大変便利です。まだご利用されていない方は、是非ご利用いただけますようお願いいたします。

最後に、新しい年が飯塚法人会及び会員の皆様並びに会員御家族の皆様にとりまして、明るく健康で幸多い年になりますよう、心から祈念いたしまして、新年の挨拶いたします。



## 令和7年度 飯塚税務署長納税表彰

昨年11月に公益社団法人飯塚法人会役員など2名に署長表彰、署長感謝状が授与されました。

署長表彰は、国税の申告と納税及び租税教育等に関して、功績顕著な団体又は個人等が顕彰されるものです。また、署長感謝状は、国税についての申告、納税、租税教育その他納税思想の高揚若しくは税務行政の推進に功績があった個人、法人及び団体等に贈呈されるものです。

何れも阿部税務署長が、各事業所を訪問のうえ、感謝状、表彰状を贈呈されました。



### 税務署長 納税表彰



公益社団法人 飯塚法人会  
理事 福本 圭史

### 税務署長 感謝状



公益社団法人 飯塚法人会  
女性部会副部長 江藤 富士美

## 青年部会 活動

### ■ 第23回 こどもくらしっくコンサート

12月4日(木)、コスモスコン大ホールにて「こどもくらしっくコンサート」が開催され、市内15校の小学6年生1,000名強が集う中、はじめの税金クイズでは元気な声が飛び交い大きな盛り上がりとなりました。知識を深めたところで税に関する絵はがきコンクールの紹介です。

続く飯塚高等学校吹奏楽部の演奏では、今年はプロサクソフォン奏者との共演もあり圧巻の迫力でした。手拍子は止むことなく、児童達だけでなく、大人の私達も大変楽しく有意義な時間を過ごしました。

事前準備も含め、当日は各部会員の皆様による多大なるご協力と温かいご尽力のおかげで、盛況のうちに本年度も無事閉会いたしました。深く感謝申し上げます。

副部会長 櫻庭 佐代子



### ■ 第39回「法人会全国青年の集い」山梨大会

昨年11月に開催された山梨大会では、租税教育の各青年部会のプレゼンが特に印象的でした。子ども向けにとどまらず親子参加型で税の大切さを発信している部会や、会員増強も視野に入れた継続的な仕組みづくりなど、各部会の工夫に学びが多くありました。私も租税教育のグループワークに参加しましたが、講師不足の課題に対しOBへ講師依頼を行うなど、現実的で実行力のある施策が共有され、有意義な時間でした。

飯塚法人会青年部会でも取り入れられるヒントが多く、実装に向けて整理していきたいです。

また、健康経営のプレゼンでも、積極的な導入が従業員の意識向上や業績アップにつながる事例が紹介され、業種を問わず参考になる内容が多く、大きな刺激を受けました。

副部会長 野見山 勉



### ■ 租税教室の講師を務めて！

飯塚法人会青年部会では、社会生活における「税の役割や大切さ」について考え「税金とは何なのか？税金がどのように集められてどのように使われるのか？なぜ税金が必要なのか？」といった税の基礎を学ぶ「租税教室」を小学校6年生を対象に毎年継続的に開催しています。今年度は中学校にも出向いて「租税教室」の授業を行いました。

今回初めて、租税教室の「講師」を担当させていただきましたが、児童の皆さんは、想像していたよりも真剣に話を聞き、税について考えてくれました。

後日、児童ひとりひとりから「税金は大事だと思いました」「大人になったらしっかり税金を払い、安全な街にしていきたい」といった内容が書かれた感想文が届き、改めて租税教室が素晴らしい事業であり、今後も継続的に行わなければならない活動だと実感しました。

最後に、飯塚法人会青年部会や女性部会スタッフの方々、訪問させて頂きました各小・中学校の校長先生をはじめ先生方や6年生の皆様、ありがとうございました。

副部会長 塚原 大悟



## 女性部会 活動

### ■ 中学生の「税に関する作文」の第2次審査会に参加して

令和7年9月25日(木) 飯塚税務署にて飯塚法人会女性部会員6名で、中学生「税についての作文」第2次審査を行いました。第1次審査を通過した19作品を構成・独創性・共感・理解度の4項目で各10点40点満点で採点いたしました。今回初めての参加でしたが、それぞれの感性で理解し、それぞれの視点で税金のことを考えた作品が多く、採点に苦心いたしました。

採点后、税務署長室にて交流の場を設けていただきました。楽しくお話し出来る、貴重な機会でした。初めての良い経験となりました。次回も参加出来たらと思います。

理事 元嶋 律子

### ■ 第19回 全国女性フォーラム北海道大会

第19回全国女性フォーラムが、9月18日北海道札幌パークホテルにて「明日をつなごう！未来をつなごう」をキャッチフレーズに開催されました。

飯塚法人会女性部会からは、大谷副部会長、高木副部会長、私江藤の3名が参加しました。

「税に関する絵はがきコンクール」では、全法連女連協会会長賞を全国の12国税局等の優秀作品が紹介されています。福岡国税局からは、八幡法人会の森 小風美さんの作品が受賞されました。

講演会では株式会社クリエイティブオフィスキュー代表取締役プロデューサー伊藤 亜由美氏による「ストーリーあるプロデュース、北海道における人づくり・モノづくり・地域づくりを演題として、1992年会社創立以降、大泉 洋氏ら個性派俳優を抱えTEAM NACSとして全国へ活動の場を広げているとのことでした。また、食・観光・地域産品の魅力を全国に伝えたいという思いから北海道産小麦にこだわったベーカリー事業「boulangericoron」を立ち上げて北海道の魅力を発信されているそうです。会場ではこだわりの小麦粉を使った食パンの販売もありました。

さらに食品ロスの取組もされて、この問題はこれから先も続いてゆく課題だと改めて考えさせられました。

副部会長 江藤 富士美



### ■ 第16回「税に関する絵はがきコンクール」審査会

女性部会では、租税教育の一環として、管内の小学校6年生を対象に「税に関する絵はがきコンクール」を行っています。

租税教室などを通じて、「税の大切さ」や「税の果たす役割」について学んでもらい、その知識や感想を「絵はがき」にすることで、税に対する理解をより深めてもらうことが目的です。

今年度は、飯塚税務署管内の小学校19校から1,067点の応募があり、昨年より2校、約150点の増加となりました。

12月16日(火)に飯塚税務署会議室において審査会を開催し、野田博生飯塚美術協会副会長、阿部寿弘飯塚税務署長、北原義識嘉飯租税教育推進協議会長並びに飯塚法人会の榊島典仁会長、寺濱剛史青年部会長、神田照子女性部会長をはじめ、女性部会役員の皆さんなど、23名で厳正に審査しました。

最優秀賞に選ばれた上穂波小学校の林田捺歩さんの作品他、全応募作品を飯塚信用金庫本店並びに鯉田・幸袋・菰田・相田・穂波・筑穂桂川支店、嘉麻市役所、桂川町役場に1月15日から1月30日まで展示していただきました。また、イオン穂波店にも1月31日～2月12日まで全作品を展示します。引続き、飯塚税務署(飯塚合同庁舎)に2月16日から3月16日まで展示しますので、是非多くの方に見ていただきたいと思います。



第16回 税に関する絵画がきコンクール  
入賞作品

公益社団法人飯塚法人会 女性部会租税教育活動



上藤渡小学校 林田 瑛歩



飯塚東小学校 稲垣 知里



庄内小学校 島屋 賢



立岩小学校 前川 愛奈



片島小学校 平田 唯



立岩小学校 永末 つき乃

審査会特別賞



飯塚西小学校 登道 龍空



種井義務教育学校 木下 翠々



内野小学校 古川 綾乙



順田小学校 木村 愛衣



片島小学校 逢坂 悠晴



上藤渡小学校 今福 みなみ



桂川小学校 手島 茉莉花



桂川東小学校 福岡 勇純



華屋小学校 川崎 はな



飯塚小学校 舞野 朱賀里



庄内小学校 加来 野花



大分小学校 伊藤 鉄平

高田小学校 上野 想真

立岩小学校 辻田 晴真

種波東小学校 春藤 皆実

標本小学校 石田 咲愛

## 令和7年度「税に関する高校生の作文」受賞者一覧

賞	題名	氏名	学校名	学年
飯塚税務署長賞	税は文化をつくるエンジンになる	浜砂 悠汰	福岡県立嘉穂高等学校	1
飯塚税務署長賞	少子高齢化と税金	坂本 龍 麟	福岡県立嘉穂高等学校	1
飯塚税務署長賞	これからの社会と税の役割	鶴田 惟 斗	学校法人鳩田学園嘉穂高等学校	1
飯塚署管内税務連絡協議会会長賞	命を守る人こそ税を	津田 隼乃介	福岡県立嘉穂高等学校	1
飯塚署管内税務連絡協議会会長賞	あなたの税金、私の将来	川野 紅葉	福岡県立嘉穂高等学校	2
福岡県飯塚・直方県税事務所長賞	税金を見つめ直して	佐藤 悠 莉	福岡県立福築志翔館高等学校	2
福岡県飯塚・直方県税事務所長賞	税金と私たちの暮らし	児玉 百々花	福岡県立福築志翔館高等学校	2
嘉飯租税教育推進協議会会長賞	税と動物	山上 梧 奈	福岡県立嘉穂総合高等学校	1
嘉飯租税教育推進協議会会長賞	煙草と税と使い道	藤川 愛 夢	福岡県立嘉穂総合高等学校	1



飯塚税務署長賞

題名: 税は文化をつくるエンジンになる

福岡県立嘉穂高等学校 1年

浜砂 悠汰

税の役割を考えると、私たちは往々にして国家財政を維持するための財源確保という側面に目を向けがちである。しかし、税には単なる経済的機能を超えた文化的役割が潜んでいることを見逃してはならない。税をどのように課し、どのように使うかは、その国がどのような文化を育み、どのような価値を次世代に伝えていくかと密接に関わっている。言い換えれば、税制は国の文化政策の延長線上にあり、社会全体で文化を共有し発展させるための装置として機能しているのである。例えば日本における文化庁の補助金や地方自治体の文化振興基金は、税金を源泉として芸術活動や伝統芸能を支えている。歌舞伎や能、あるいは地域の祭りといった日本の文化財は、個人の力だけでは維持が難しいが、税によって広く社会全体が費用を分担することで守られ、次代へ受け継がれている。

この「税を通じた文化形成」の意義は、日本に限らず世界各国でも見出すことができる。たとえばフランスでは、芸術に対する税制上の優遇措置や公共投資が充実しており、ルーブル美術館やオペラ座といった文化施設の維持に大きく寄与している。フランスにおける芸術の豊かさは、市民が直接的に美術館の維持費を負担しているわけではなく、税を通じて社会全体で文化を支えているからこそ可能となっている。また、イタリアでは観光税を通じて歴史的都市の保護が行われており、ローマやフィレンツェといった都市の文化遺産の維持管理が、訪問者の税によって持続可能な形で実現されている。さらに近年では北欧諸国においても、税を財源とした公共放送や音楽教育が社会に深く根付いており、文化的豊かさが生活の一部として自然に共有されている。こうした例は、税が単なる負担ではなく「文化の共通基金」として機能することを物語っている。

以上のように、税は経済的な負担の象徴ではなく、むしろ文化を育み、共有するための重要な仕組みであるといえる。もし税がなければ、芸術や伝統文化は市場原理の下でごく一部の人のみだけの楽しみにとどまり、社会全体で文化を享受することは難しくなるだろう。逆に、税を通じて文化を守り育てる意識が強ければ、国民は文化的アイデンティティをより深く共有し、国際的にも独自の存在感を示すことができる。したがって税の意義を考えると、税金には、単なる財政的側面にとどまらず、その文化的役割を正しく理解し、評価することが求められるのである。税を通じた文化形成は、国境を越えて普遍的に重要な課題であり、日本が今後も独自の文化を守りながら世界と交流する上で欠かすことのできない柱となるだろう。



## 飯塚税務署長賞

## 題名: 少子高齢化と税金

福岡県立嘉穂高等学校 1年

坂本 龍麒

現在、日本では当たり前であるかのように少子高齢化が進行している。出生率の低下と平均寿命の伸びによって、働き手の数が減る一方で高齢者人口が増加し、年金や医療、介護などの社会保障費が膨張している。これによって、税収は減少していくのに対し、歳入は増加していく。私は、持続可能な制度を設計するべきだと考える。

外国の事例をみると、各国は少子高齢化と税制の両面から様々な対策を試みている。例えば、スウェーデンを始めとする北欧諸国は、高い消費税や所得税を課す一方で、手厚い子育てや福祉政策を実施してきた。育児休業制度の充実、保育サービスの低料金化、教育費の負担軽減などにより、子育て世代の生活を支えている。これらの国々では税負担は重い、社会全体で子育てや高齢化福祉を支える仕組みが整えられており、出生率の回復や社会保障制度の持続性に成果を上げている。フランスも同様に、家族手当や税制上の優遇措置を通じて子どもの多い家庭を支えてきた。その結果、他のヨーロッパ諸国と比べて出生率が比較的高い水準で維持されている。

一方、日本では、少子高齢化と税制の問題はより深刻さを増している。日本における出生率は長期に渡り低下し続け、世界有数の長寿国でもあることから、高齢者人口比率が急速に拡大している。その結果、社会保障費が国家予算の大部分を占め、財政を圧迫している。消費税の引き上げや所得税の累進強化などで財源を確保しようとしてきたが、増税は生活に負担を強いるだけでなく、消費の停滞を招く側面もある。また、子育て支援策も近年拡充されているが、北欧諸国のように税負担と社会保障のバランスが取れた仕組みには至っていないのが現状だ。

さらに、日本では地方自治体ごとに人口減少の影響が重なり、過疎地域では税収基盤そのものが脆弱化している。そのため、地域の社会保障サービスの維持が難しくなり、若者が流出するという悪循環を生んでいる。これに対して、単に増税に頼るのではなく、税制と社会保障制度を改革することが大切だと考える。たとえば、子育て世代への給付や教育費軽減を拡充しつつ、労働力人口を補うための外国人労働者受け入れや高齢者の就労支援を検討すべきだ。

少子高齢化と税金は一国だけで解決できるものではなく、国際的な知見を取り入れ、社会全体で負担と支え合いをどう分担するのが重要であると考えます。日本が将来に渡り持続可能な社会を築くためには、制度の改革と同時に、人々が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めていくことが求められる。



## 飯塚税務署長賞

## 題名: これからの社会と税の役割

学校法人嶋田学園飯塚高等学校 1年 鶴田 惟斗

現代社会は、少子高齢化、環境問題、経済格差の拡大といった、複雑で根深い課題に直面している。これらの課題を克服し、持続可能で公平な未来を築くためには、単なる経済成長に頼るだけでなく、社会の仕組みそのものを見直す必要がある。その中で、税制は、単に国家の財源を確保する手段に留まらず、社会の方向性を決定づける重要な羅針盤としての役割を担うべきである。

まず、人口構造の変化は、税制に直接的な影響を与える。高齢化の進展は社会保障費を増大させ、現役世代の負担を重くする。また、気候変動への対応は待たないであり、その対策費用は莫大だ。さらに、グローバル化とデジタル化の進展は、富が国境を越えて移動することを容易にし、従来の国家単位での課税を困難にしている。これにより、富の偏在が加速し、社会の分断が深まるリスクがある。

これからの社会を見据えた税制には、いくつかの転換が必要だ。第一に、環境に配慮した行動を促す「環境税」の強化である。例えば、炭素排出量に応じた課税は、企業や個人の行動を変え、再生可能エネルギーへの投資を加速させるだろう。第二に、格差是正のための資産課税の見直しだ。金融所得への課税強化や、富裕層への公平な課税は、富の再分配を促し、社会の安定に寄与する。第三に、デジタル経済に対応する「デジタルサービス税」の導入である。これは、巨大なデジタルプラットフォームが活動する国で適切に課税される仕組みを構築することで、公平な競争環境を確保する上で不可欠だ。

これらの税制改革は、短期的な財源確保だけでなく、長期的な社会変革の触媒となる。環境税は、持続可能な経済システムへの移行を後押しし、経済と環境の両立を実現する。資産課税の見直しは、社会の不公平感を和らげ、教育や医療への再投資を通じて、すべての人に機会を提供する基盤を築く。税制は、単なる負担ではなく、「どのような社会を築きたいか」という私たちの意思を反映するものである。

結論として、これからの税制は、現代社会の課題解決に向けた戦略的なツールとして再定義されるべきだ。それは、時代遅れの仕組みを繕うことではなく、未来のビジョンに基づいた新しい社会契約を構築することに他ならない。国民一人ひとりが税の役割を深く理解し、そのあり方について積極的に議論に参加することが、より良い未来社会を創造するための第一歩となるだろう。

## 令和6年度「税に関する中学生の作文」受賞者一覧

賞	題名	氏名	学校名	学年
福岡国税局長賞	挑戦を支える税金	上田 ころこ	桂川町立桂川中学校	3
飯塚税務署長賞	税について私が思うこと	前川 由奈	飯塚市立飯塚第一中学校	2
飯塚税務署長賞	増税は悪か	鎌山 結希	嘉麻市立稲葉西義務教育学校	9
飯塚市長賞	税金の大切さとは	竹内 璃羽	飯塚市立小中一貫校飯塚鎮西校	9
嘉麻市長賞	税を支える力	粉井 陽月	嘉麻市立碓井義務教育学校	9
桂川町長賞	税金で支えられる毎日	星見 莉央	桂川町立桂川中学校	3
公益社団法人飯塚法人会会長賞	本当に税金はいらないのか	岡松 柚希	福岡県立嘉穂高等学校附属中学校	3



## 福岡国税局長賞

## 題名: 挑戦を支える税金

桂川町立桂川中学校 3年 上田 ころこ

私がフィリピンに留学できたのは、税金を使って援助してくれたおかげです。この経験はただの海外体験ではなく、税金の役割や意味を深く考えるきっかけになりました。

フィリピンに到着して驚いたのは、街の風景の違いでした。大きなショッピングモールや高層ビルの裏には、壊れかけの家や路上で生活する人々が居ました。そこでは、日本ではあまり目にしない大きな貧富の差がありました。初めてこのような風景を見て、胸が痛くなりました。そんな中で聞いた現地人のバスガイドの言葉は、心に残っています。

「フィリピンは貧富の差が大きいです。貧しい人達はあなた達のように海外へ留学する機会もありません。私が初めて日本に来たとき、帰りたいと思いました。それは、誰にもチャンスがある社会だからです。フィリピンには自分のしたいことができない人達がたくさん居ることを忘れないでください。」

その言葉を聞いたとき、日本とフィリピンの違いが分かりました。フィリピンでは家庭の経済状況が子供の未来に大きく影響します。一方日本では影響はありますが、みんなから集めた税金が教育や国際交流の事業に使われ、誰もが平等に学びや挑戦の機会を得られるようになっていきます。私はこの違いを感じ、自分がどれほど恵まれた環境に居るのか、気づくことができました。もし税金が無ければ、フィリピンの人々の暮らしに触れることも、バスガイドさんの言葉に出会うことも無かったと思います。

税金は道路や学校の設備など、生活を支えているというイメージが強いですが、それだけではありません。税金という仕組みがあることで、私達は挑戦の機会を得ることができました。税金によって私達の「やりたいこと」が応援されているのです。そして、挑戦する環境を与えて貰っていると感じられること自体が、とても幸せなことだと思います。

この留学を通して、もっと学びたい、興味を持ったことに何でも挑戦したい、そして「与えられたチャンスを大切にしたい」と強く思いました。税金が無ければ得られなかったこの貴重な経験を、これからの学びに活かし、色々な視点で周りのことを見られるようになります。そして将来は、自分も働いて、税金を通して誰かにチャンスを届けられるような大人になりたいです。税金は単なるお金ではなく、私にとって「感謝の気持ち」であり、「誰かの挑戦を支えるための仕組み」です。



## 飯塚税務署長賞

## 題名: 税について私が思うこと

飯塚市立飯塚第一中学校 2年 前川 由奈

私は税金が高いと思ったことがありません。なぜなら、小学校の時から毎年、授業を受け学んできたからです。よく大人が「税金を無くそう」と言っていますが、それは違うと思います。

例えば税金が無いと、義務教育は無くなるので、私達は今のように学校に行けず、十分な知識を得られずに大人になってしまいます。また、水道や道路が老朽化したままだと、安全に過ごすことができません。消防や警察に助けを求めることも有料になってしまいます。病院の医療費においても税金を使用している場合があるため、高額となり、今のように簡単には行けなくなります。当たり前が当たり前ではなくなるのです。私は、今ですと「みんな平等」だと習ってきました。しかし、税金が無くなるだけで、経済格差が悪化してしまい、助かる命も助からず、お金に余裕のある人だけが人間らしい生活ができ、貧しい人は勉強することもできません。こんな状態だと、経済が低迷し続けていくことや、日本でも暴動が起きることが予想されます。

しかし、税金が高すぎると不満に思っている人が大勢いるのも事実です。以前、税の学習で個人で稼いだお金から、その稼ぎに対して「所得税」が課せられると学びました。所得税は個人の所得が高くなるに従って税率も高くなるという公平な仕組みですが、その当時は自分の稼いだお金を全て使えないと知り衝撃を受けました。私はまだ、実際に頑張って稼いだお金を引かれる経験をすることが無く、税金の負担の大きさをを感じる機会がありませんでした。しかし、学校へ通っている中で、小学校の時是一年間で一人あたりおよそ九十二万一千円、中学校は百六十七万七千円、税金から負担されていると知りました。税金の負担が大きいと感じる

人がいるかと思いますが、税金のおかげで私達は無償で授業を受けることができます。私は、税金を納めることは、今、学校に行けて充実した日々を送るだけでも、それが将来へと繋がっていくので、十分価値のあることだと思います。

だから私は税金が高いと思ったことが無いのです。このころ、税金は無くなったほうがいいと思います。税金は無くなるべきではないと思います。税金は私達が安全に暮らしていただけるように支援してくれています。私が大人になったら、税金の重要性を次の世代に伝え、私が支援してもらっていた分、たくさん税を納め、社会に貢献し、未来の子も連に繋がるように頑張っていきたいです。そして、一人ひとりが税金と向き合い、全員が人間らしく暮らしていただけるような社会になってほしいと思います。



### 飯塚税務署長賞

### 題名:増税は悪か

高崎市立福藪西農務教育学校 9年

諫山 結希

最近、身の回りで減税、増税という言葉をよく耳にする。ニュースでは、消費税などの減税、増税を各党の政治家が政策として打ちだしてたり、ネットでは政治家の増税を批判し、減税を求める場面をよく見かける。私はそのたびに思う。増税とはそんなに悪いものなのか、と。

学校では「税として得たお金は私達の生活に役立てられている」と学んだ。ならば増税でお金は取られるものの、その分社会保障などでも返ってくるのだから問題ないのではないかな。ならなぜ多くの日本人は増税に反対しているのか、そんな疑問を解決するために、私は税についてネットや本などで調べてみることにした。すると、この疑問には政治、制度、教育という三つの問題が関係していることが分かった。

この中でも特に気になったのは、私たち中学生に最も身近な教育の面である。日本で税金などの金融教育が本格的に始まったのはごく最近のことであり、それを実施している学校の割合も依然として高いとは言えない。これは他の先進国と比べて遅れおり、量、質とも不足している状況だ。このような教育の不足により、税金がなぜ必要なのか、どのような分野に使われ、自分たちどのような恩恵があるのか、といった基本的な知識が不足してしまう。その結果、増税に対して「お金を取られるばかりで損をしている」という感情的で知識に基づかない反発が生まれやすくなってしまふ。また、税金に関する政策の目的や背景が理解されにくくなり、反対意見を述べる際も「よく分からないが、とりあえず反対」といった表層的な反発にとどまってしまう。これでは建設的な代替案を提案することは困難である。

これらの課題を改善するためには、学校での金融教育を充実させることが有効だ。しかし、それ以外にも私たち自身にできることがあると考える。例えば、ニュースを見た際に受け身でいるのではなく、自分なりの疑問を持つこと。その疑問をそのままにせず、ネットや本で調べたり、親や教師など身近な大人に質問したりする。そして得られた情報から自分なりの意見を持つ。これを通じて、税金だけでなく社会全般に対する関心と知識を深めることができるだろう。

税金についての知ることは、社会を知る第一歩だと思う。現在の日本は少子高齢化、環境問題、経済格差など様々な問題を抱えている。自分たちが生きている社会に向け、税金を理解しようと努力して初めて、身の回りの課題に気づくことができる。税金もその一つである。課題に気づき、知識を得て、考え、そして行動する、このサイクルこそが、より良い社会を築く基盤となるのではないだろうか。



### 公益社団法人飯塚法人会長賞

### 題名:本当に税はいらないのか

福岡県立高橋高等学校附属中学校 3年

岡松 柚希

「消費税は廃止するべきである」

最近よくこのような発言を耳にする。消費税の廃止を政策に掲げる政治家や、増税に反対する声が多いように感じる。確かに税があることで、商品が定価よりも高くなるなど、本来もらえるはずの給料から実際の手取りはかたなり少なくなっているなど様々な所で不満を抱えている人も少なくないだろう。実際私もマイナスなイメージを持っていた。しかし、税の使い道について詳しく知った時、税についての考えが大きく変わった。税について詳しく知ることで見解を広げることができた。だからこそみんなも知ってほしい。もしも税金がなくなると、どのような社会になるのか。

実際に、税金がないとどうなるのかが気になり調べたことがある。とある本で、税金が負担が少ない国としてシンガポールの例を見た。シンガポールには「タックスリポート」という税制優遇制度があったり住民税、相続税、贈与税がなかったりする。一見とても魅力的に思うだろう。日本はアジア圏の中では住民税、所得税が高い国であり、通常の日常生活の中で税負担を多く感じている人も多い。しかし税金が安ければ必ずしも良いとは限らない。道路、橋、上下水道、病院、教育機関、警察機関などの公的サービスは、税金により維持されている。そのため、税金で公的サービスを賄えなくなると道路や橋の整備にも通行料を取られ、医療費も高額になってしまふ。加えて義務教育を平等に受けられない上に、警察機関にも影響が生じ治安の悪化や調査、逮捕のためにお金を払って警察官を雇うか自分で対処するしかなくなる。このように税が安くなると賄えない部分が生まれ、生活が不自由になっていく。これを本当に幸せと呼べるだろうか。私達は税金というお金を支払うことによって「豊かで利便性の高い生活」を獲得しているといえるだろう。

日本は、水道水が飲める国として有名だ。また医療保険や年金、雇用保険もアジア諸国ではとても高い水準となっている。これらも全て税金があるおかげだ。税金が国民が豊かに安心して暮らしていくために使われている。私達の幸せな生活の地盤を支えているのも税金である。ちょっとした体の異変でも手軽に病院に行けるのも、警察の方が「安全を守り治安が保たれているのも、税金で賄われているからである。ここで聞きたい。本当に税はいらないのだろうか。本当に廃止にしても高い水準と変わらない。もちろん皆様々な思いを抱えていると思う。しかし一度税の使い方について知り、普段の生活の中の細かな所に当てはめていくことで税金が身近に感じられると思う。税と共に生きていくことの大切さを噛みしめて、税の良いところをもっと広めていきたいと私は思う。

企業の給与・会計担当の方 必見!!

# 使ってみたら**便利**です! キャッシュレス納付!

## キャッシュレス納付 3大メリット!!

※キャッシュレス納付とは、現金を使用しない非対面の納付方法です

### メリット1

お出かけ不要!  
待ち時間なし!



### メリット2

15時過ぎても  
大丈夫!



### メリット3

操作は、  
簡単・明快!



## あなたに適したキャッシュレス納付が選べます

### ○ダイレクト納付

e-Taxを利用して、即時又は指定した期日に、届出をした預貯金口座からの振替により納付する方法  
納付日を指定することができる**唯一**の納付方法

### ○インターネットバンキング等(電子納税)

インターネットバンキングやATM等により国税を電子納付する方法  
インターネットバンキング契約が済んでいれば、**即**利用可能

### ○振替納税

※個人の方のみ利用可能



### ○スマホアプリ納付

### ○クレジットカード納付

各キャッシュレス納付の  
詳細はコチラ  
(国税庁HP) →



ダイレクト納付の詳細はコチラ  
操作**マニュアル**もあります!!  
(国税庁HP) →



**イキオン!!**

特に源泉所得税は、

電子化・キャッシュレス化がオススメ!!

どなたでも利用可能な**体験コーナー開設!!**

まずは気軽に体験してみませんか?



(e-Tax HP)



住民税をはじめとする地方税も

eLTAXで業務効率化!!



(eLTAX HP)

会社や事務所に  
お勤めのみならず

マイナポータル  
連携のご利用で



## 給与所得の確定申告が さらに簡単になりました！

スマホでも



パソコンでも



ご自宅から



自動入力で  
確定申告



給与情報のマイナポータル連携とは

休日やスキマ時間で  
簡単に申告できます

- ✔ 面倒な操作や手入力が不要！
- ✔ ミスなく確定申告できて安心！
- ✔ 紙の「給与所得の源泉徴収票」が不要！
- ✔ 医療費やふるさと納税もあわせて自動入力！

※ 医療費やふるさと納税のマイナポータル連携には、別途、事前準備が必要です



具体的な方法はこちらの動画を  
ご覧ください  
(YouTube 国税庁動画チャンネル)

お早めの



ご利用には**事前準備**が必要です

※ 給与所得の源泉徴収票を自動入力するには、マイナポータル/e-Taxで事前準備をする必要があります  
※ 一度設定すれば、翌年以降の確定申告の際に、事前準備は不要です



マイナンバーカード及び電子証明書  
の有効期限にご注意ください

※ 有効期限を過ぎた場合には、マイナポータル/e-Taxによる申請ができなくなります



確定申告に関するアンケートに  
ご協力ください

※ e-Taxの利用促進のため、従業員の方さま向けに有給アンケートを実施しています



所要時間  
約3分

※ お勤め先からe-Taxで提出された「給与所得の源泉徴収票」がマイナポータル連携の対象となります  
※ お勤め先の「給与所得の源泉徴収票」の提出状況についてはお勤め先にご確認ください

給与 マイナポータル

福岡国税局・税務署

R.7.10

## 飯塚法人会のご案内

### ■ 法人会とは？

良き経営者をめざす経営者の集まりです！

法人会は税のオピニオンリーダーとして企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体です。全国各地に440単体会があり、全国の会員企業は70万社です。

公益社団法人飯塚法人会は、飯塚税務署管内(飯塚市、嘉麻市、桂川町)の企業など、968社(正会員)が加入、青年部会、女性部会も活発な活動を展開しています。

### ■ 事業案内

#### ☆ 税務知識及び納税意識高揚を目的とする事業

税務署担当官による税制改正説明会、決算説明会、新設法人説明会等を行っています。また、小学6年生の租税教室は、青年部会・女性部会が講師を務めています。



決算説明会



税制改正説明会



租税教室

#### ☆ 税制・税務に関する調査研究や提言

税制改正の提言は、全国の440法人会から提出された中小企業税制等の税制改正要望事項を基に、全国法人会総連合が取りまとめたものです。飯塚法人会では管内の行政、議会、地元選出の国会議員に提言活動を行っています。

#### ☆ 青年部会活動

青年部会は、地域社会への貢献事業として「こどもくらしっくコンサート」を開催しています。また全国の青年部会員が参集する「青年の集い」は、意見交換、情報交換の場でもあり積極的に参加するとともに、会員相互の交流を目的に諸事業を開催しています。

#### ☆ 女性部会活動

女性部会は、租税教育の一環として「税に関する絵はがきコンクール」を中心に、全国の女性部会員が集まる「全国女性フォーラム」への参加や会員相互の交流と研修を兼ねた視察会を行っています。

#### ☆ 経営に関する研修会

リスクマネージメントセミナーや景況特別講演会を開催しています。

#### ☆ 地域社会へ貢献事業

青年部会主管の小学校6年生を対象とした「こどもくらしっくコンサート」や著名な講師による「新春特別講演会」を開催しています。また、会員交流事業として賛詞交歓会も開催しています。

#### ☆ 会員企業・経営者・従業員を守る、法人会独自の福利厚生制度

大同生命保険(株)・AIG損害保険(株)・アフラック生命保険(株)による提携制度は、団体割引として加入できます。



税制改正の提言



### ■ 飯塚法人会の新会員を募集しています！



公益社団法人 飯塚法人会

入会のお申込・お問合せ

TEL 0948-28-8100

飯塚法人会



E-mail: iho@dream.ocn.ne.jp

